大阪城

2020 6/25 (木) 14081号

金港湾 西成合会

22-47 6649 4947

小さな、こまかい世界の話だが、7/1(水)からコンビニやスーパーでの、レジ袋が法により有料になる。3円と5円とられる。石油由来のプラスチックが海に流れ、魚が死んだり、自然をこわすのを防ぐためという。ただ、ややこしいのは、植物由来のバイオマス素材を25%以上つかったレジ袋は無料でいい。植物系のレジ袋で無料のところもあるというから、7/1からすぐにはややこしい。

コロナウイルスもそうだが、目に見えない小さな小さな世界や、微粒子がけっこう社会を決めてきている。コンピューターやスマホなど、デジタルの世界も「半導体」が勝負で、小さな世界が勝負を決める社会に変化してきている。

そのような小さな量子にささえられ、決められてきている社会の上では、大政治家が踊られはじめている。秋までには、衆議院選挙だとかウワサされはじめた。たしかに、時がたてば、安倍に不利な条件や環境がふえそうだ。9月臨時国会の冒頭解散とかいわれたりする。

この7月、8月が、しこみの時であり、勝負かもしれない。

6/21 シンポジウム

～今、見逃せない労働組合弾圧～

永嶋靖久 パネラー

弁護士（関生弁護団）

亀石倫子

弁護士（GPS捜査・冤罪事件と闘う弁護士）

竹信三恵子

（ジャーナリスト、和光大学名誉教授）

吉田美喜夫

（立命館大学名誉教授）

コーディネーター **大椿ゆうこ**

（クビを切られた元非正規労働者　社民党全国連合常任幹事）

先日の日曜日、西区の「関西生会館」でシンポジュームが行われコロナ禍のもとでの大衆的な取り組みがもたれ、当組合もさんかしてきました。先日弾圧をけた組合員・幹部が全員保釈され、警察・資本に対する「反撃のスタート」をきるにふさわしい内容のある集会でした。

https://iwj.co.jp/wj/open/archives/4768 31で動画配信されています。